

# やながわ

YANAGAWA 2012.

No.163

1月1日

## 今号の内容

- |   |       |
|---|-------|
| ◆市長・議長 年頭のあいさつ  | 2~3   |
| ◆景観創造 2012 柳川市景観計画  | 4~11  |
| ◆空き家バンクがスタートほか  | 12~13 |
| ◆市民のひろば(14-15) ◆川柳(15) ◆図書館・水の郷ニュース、柳川百選まち歩き(16-17) ◆情報わいど(18-23) ◆がんばったね・ぬくもり(23-24) ◆柳川にこの人あり MASAさん(24) ◆もちふみデビュー(25) ◆保健ガイド(26-27) ◆新市史抄片(28) |       |

ページ



## 自慢のしめ縄持ってハイポーズ

両開公民館は12月9日、まほろば大学健康講座で毎年恒例のしめ縄作り教室を行いました。60歳以上の受講生20人が、講師の池末柳一さんから指導を受けながら、自宅用のしめ縄作り挑戦しました。池末さんは「基本の形はあるが、出来上がったしめ縄を見ると少しずつ形が違ふんです」と、しめ縄に受講生の個性が表れるそうです。受講生は、自宅用とあって、真剣な表情でしめ縄を製作。完成したしめ縄を見て「難しかったけど、とても楽しくできました」と、皆さん満足した様子でした。

## 柳川出身の著名人

新

市史抄片

82

問い合わせ  
市生涯学習課市史編さん係

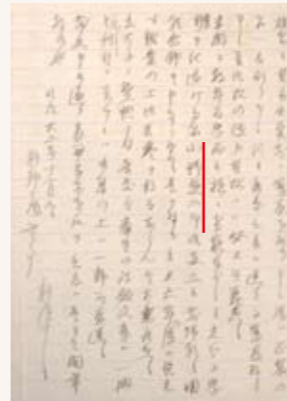
(☎72・1275)

柳川出身の著名人といえば、昨今では大関に昇進した琴奨菊を思い浮かべる人が多いと思いますが、明治時代から昭和戦前期に限ると、意外に知られていない人物が多いようです。もちろん、柳川市教育委員会発行の『やながわ人物伝』にも何人が取り上げられていますし、北原白秋をはじめとする文学者は全国的にも有名ですが、それ以外をここで紹介してみたいと思います。



【上】2月5日まで開催中の企画展「子爵曾我祐準」の展示会場

【右】明治22年11月に曾我祐準が、フランス留学中の息子祐邦にあてた手紙。小野英二郎の名前(赤線の部分)がみえる。



まず、なんといっても現在柳川古文書館でゆかりの品々を展示している曾我祐準(1843~1935)は、その筆頭といえます。戊辰戦争や西南戦争に従軍して陸軍中將となり、貴族院議員としても自分の信念を貫いた生き方は、当時の柳川人にとって、尊敬の対象でありました。

この祐準と関わった人物として、自叙伝の中にたびたび出てくるのが中村祐興(1829~1909)です。柳川藩士で、大蔵省の役人として新しい紙幣の用紙の改良に尽力しました。祐興は、祐準の出洋も援助しています。祐準関係史料に手紙が残っているなかでは、白仁武(1863~1941)と西田敬止(1860~1929)があげられるでしょう。武

務めた人物です。また敬止は、同じく東京帝国大学卒業後、東京女子学館の監事として教育にあたりました。この二人は当時の著名人を掲載している『明治人名辞典』にも収録されています。これ以外に、祐準がフランス留学中の長男祐邦にあてた手紙の中に、小野英二郎(1864~1927)が出てきます。英二郎は「米国に数年間留学し、毛極々貧窮ながらも十分に学業ヲ仕遂けたる」(アメリカで貧しいながらも十分に勉強した)人物で、オノ・ヨーコの祖父にあたります。同志社卒業後、アメリカの大学で経済学を勉強し、帰国して日本銀行に入り、後に日本興業銀行の副総裁となります。

市史編さん係 江島 香

## 編集後記

●便利な世の中だ。プレゼントを届けるサンタを追跡する、インターネットのサイトがある。サンタの存在を疑い始めた、小2の息子の目くらましに利用させてもらった。いずれ正体はばれると思うが、かわいい夢はできるだけ長く見ていてほしい。そう思うのは親のわがままだろうか。●最近、目、肩、腰が痛い。レイアウトや文章の入力など、ほとんどパソコン。画面とキーボードが、自分の相棒と化している。姿勢が悪いのもあるのか、特に腰がちよっと悪いわけで、テレビのコマーシャルでよく流れている薬を使ってみようかと思案中。でも、良くなるかなあ。(賢治)

平成23年11月末現在

### 人のうごき

- 人口 71,645人 (前月比-50)
- 男 33,927人 (-26)
- 女 37,718人 (-24)
- 出生 30人、死亡 74人
- 転入 117人、転出 123人
- 世帯数 24,654世帯 (+9)